



ナクトンガン河口堰の開門と市民団体の社会的活動

2026. 03. 15

ナクトンガン河口汽水生態系復元協議会 常任代表 イ・ジュンギョン



ナクトンガン河口
汽水生態系復元委員会

1. ナクトンガン河口汽水生態系復元に向けた努力

●●●● ※ **ナクトンガン河口堰建設** **今年(2026年)建設39年**  **낙동강 하구
기수생태계복원협의회**

- **1987年に竣工、長さ2,400m、工事費1,573億ウォン**
- プサン、ウルサン、慶尚南道の用水供給、周辺埋め立てによって宅地と工業団地造成
- 竣工以降、汽水生態系破壊及び川底の無酸素状態が持続
 - ➔ 魚の斃死などの問題が発生、4大河川事業以降緑潮(みどりしお)が問題



一般	<ul style="list-style-type: none"> • 河川名：ナクトンガン本流 • 本ダム地点 左岸：ソハ区 ハダンドン 右岸：칸ソ区 ムヨジドン
本ダム	<ul style="list-style-type: none"> • 形式：コンクリート及び土堰堤 • 長さ：2,230m 高さ：18.7m • 体積：221만m³ 床標高：E.L 9.2m
貯水池	<ul style="list-style-type: none"> • 計画洪水位：E.L 3.70m
旅水路	<ul style="list-style-type: none"> • 計画放流量：18,300(m³/sec) • 門扉：注水門 6門 (47.5m×9.2m), 調節水門 4門 (47.5m×8.3m)

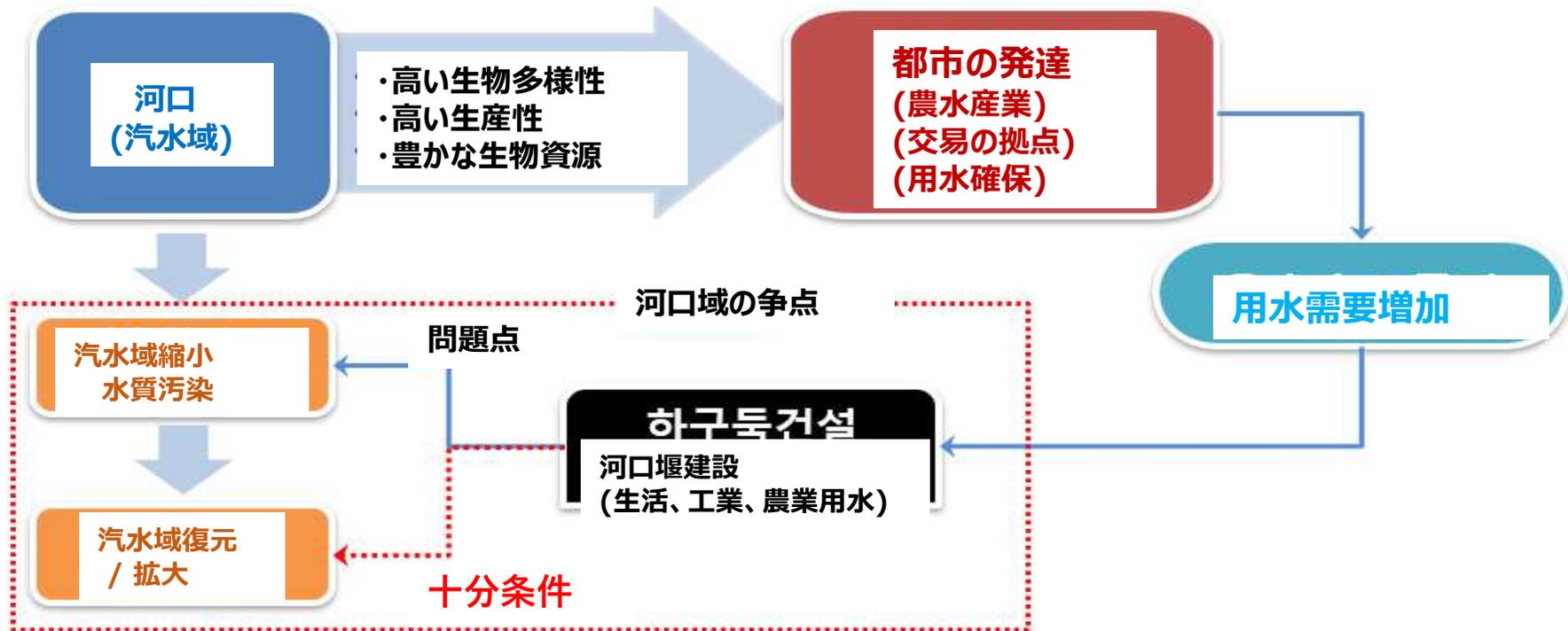
<ナクトンガン河口の現況>

1 ナクトンガン河口堰建設の目的

2 河口復元の必要性評価



❖ ナクトンガン河口堰を取り巻く争点



・ 河口堰建設の目的を現視点で再評価し、これを通じ汽水域の変化と復元の可能性を各分野別分析を通じて提示

1. 河口堰開門運動の流れと歴史

1) **1978年5月 大韓民国最大の民間環境団体であるナクトンガン保存会が創立**

- 1978年に河口堰を造るという政府の政策が発表されると、プサン地域の良心がある専門家と言論人が主導して反対運動が始まる（この時期は「市民団体」という概念がなく、**韓国社会の市民運動、環境運動のはじまりである**）。（ナクトンガン保存会ホームページ www.nakdong-r.or.kr 参照）

2) **大韓民国最初の「ナクトンガン保存会宣言文」**

- 言論人であり、詩人でもあるキム・ギユテ氏が作成した「ナクトンガン保存会宣言文」は、政府が制定した「自然保護憲章」の公表よりも5か月早い。

3) ナクトンガン河口堰事業は1983年に**韓国最初の環境影響評価**を実施した初の事業である。

4) **最初の国際環境団体反対宣言**

- 1981年11月 国際鳥類保護会の総会にて、ナクトンガン河口堰建設反対決議、国内外に大きな影響をあたえた。

5) **河口堰竣工（1987年）により1988年から生態の絶滅と水質汚染が深刻だ**という政府(環境庁)の発表で、水資源公社が満潮期と干潮期に水門を開けることで水質問題を緩和させた。

6) ナクトンガン河口堰造成10周年後、生物相の出現種数の変化

動物群	河口域全体			上流域			下流域			備考
	築造前	築造後	比率	築造前	築造後	比率	築造前	築造後	比率	
軟体動物	42	27	▲36%	13	3	▲77%	33	25	▲25%	シジミ、貝
甲殻類	96	50	▲48%	24	0	▲100%	91	49	▲47%	エビ、モクズガニ
魚類	93	63	▲33%	60	36	▲40%	54	30	▲45%	サケ、ウグイ
合計	231	140	▲40%	97	39	▲60%	178	104	▲42%	

개발사업 추진되는 4대강 수변지역

● 천수구역 지정 요청·계획 ● 지방자치단체 개발 계획



李明博 (イ・ミョンバク 이명박)

○ソウル特別市・市長
2002年7月1日 - 2006年6月30日

○大韓民国・大統領
2008年2月25日 - 2013年2月24日

“4大河川事業”

4大河川

- 漢江 (한강 Han River)
- 洛東江(낙동강 Nakdong River)
- 錦江 (금강 Gim River)
- 荣山江(영산강 Yongsan River)

3. ナクトンガン河口堰開門のための市民社会活動 NGOの奮闘

◆1991年、洛東江(ナクトンガン)でフェノール水質汚染事故(原因企業 慶尚北道亀尾クミ 斗山電子)

- 1) 1978年 ナクトンガン保存会発足
- 2) 1997年 11月 26日、ナクトンガン保存会、プサン環境運動連合、慶星大鳥類研究所主催
-「ナクトンガン河口堰築造10年を語る」シンポジウム
- 3) 2007年 11月 29日、ナクトンガン保存会、ナクトンガンネットワーク主催：河口堰築造20年評価シンポジウム
..... (2008年イ・ミョンバク大統領 4大河川事業)
- 4) 2012年 ナクトンガン河口汽水生態系復元及び3大河川の河口堰海水流通推進協議会 推進現況
 - 2012. 3. 20 :
3大河川(クムガン、ナクトンガン、ヨンサンガン) 市民団体懇談会(ソチョン郡) - 3大河川協議体の構成を協議
 - 2012. 4. 19 : 3大河川海水流通協議会 推進委員会発足及び国際シンポジウム
 - 2012. 5. 8 : 3大河川海水流通 執行委員 3次会議(テジョン) - 国会討論会の開催を協議
 - 2012. 5. 21 : 環境部大臣 海水流通建議書を伝達 - 3大河川の河口堰海水流通建議書を伝達
 - 2012. 6. 12 : 3大河川海水流通執行委員 4次会議(プサン) - 専門家召請国会大討論会の開催を協議
 - 2012. 6. 12 : ナクトンガン河口汽水生態系復元協議会(準) 1次発足会議 (プサン市民センター)
 - 2012. 6. 29 : ナクトンガン河口汽水生態系復元協議会(準) 2次会議 (全教組)
 - 2012. 6. 29 : ナクトンガン河口汽水生態系復元関連 ムン・ジェイン議員懇談会 (プサン市議会)
 - 2012. 7. 3 : 3大河川海水流通執行委員 5次会議(テジョン) 専門家召請国会全国大討論会の開催を協議
 - 2012. 7. 4 : KBS 環境スペシャル放映 3大河川河口域海水流通関連、水質、堆積、回帰性魚類枯渇など
- 5) 2012年 7月 9日 : ナクトンガン河口汽水生態系復元協議会発足 (プサン民主市民教育院)
- 6) 2012年 7月 9日 : ナクトンガン河口汽水生態系復元協議会、ナクトンガン河口フォーラム、生態社会プサンフォーラム主催-ナクトンガン河口堰管理と汽水域生態復元のための討論会(プサン日報講堂)
- 7) 2012年 8月 23日 : 3大河川海水流通協議会主催、3大河川海水流通国会大討論会開催(国会)
3大河川河口堰海水流通広報及び第18代大統領選挙公約事業反映法案を討論
- 8) 2012年 10月 11日 : 国際専門家召請 国際シンポジウム開催(ソチョン郡)
- 9) 2012年 11月 15日 : 第18代 大統領選挙候補 公約案伝達



2010.11.17「ナクトンガン河口堰開門と水辺の再創造」
ナクトンガン下流ルネサンス、新しいビジョンを立てよう

민주 '낙동강벨트 후보' 공동 공약으로 연대 시
동 본문듣기 설정

기사일력 2012-03-05 16:12 | 최종수정 2012-03-05 18:16

공감 3



◆民主「ナクトンガンベルト候補」
◆2012年民主統合党 総選挙公約
「河口堰水門開門」(2012.3.5)



2012.5.29.~6.29. 6回連続セミナー



2012. 7. 9 汽水生態系復元協議会発足

3. ナクトンガン河口堰開門のための市民社会活動・釜山市との連携

- 10)2013年~2014年「ナクトンガン河口汽水生態系」復元のための環境部用役 プサン大学アン・スンモ教授
- 11)2015年 4月 17日 ナクトンガン河口フォーラム主催(プサン大学) ナクトンガン河口汽水生態系復元討論会
- 12)2015年 9月 9日 ナクトンガン河口生態系復元及び河口堰開門連席会議 ~以後 9次会議行う
- 13)2015年 9月 23日 ソ・ベンス プサン市長「ナクトンガン河口堰開門宣言」記者会見
- 14)2015年 10月 7日 プサン市議会 3階 ナクトンガン河口汽水生態系復元協議会発足式
- 15)2015年 10月 8日 ナクトンガン河口堰を開け 1300人宣言の宣布式及びプサン市長 1号宣言
- 16)2015年 10月 20日 : ムン・ジェイン、イ・ミギョン、ウ・ウォンシク国会議員、ナクトンガン河口汽水生態系復元協議会、韓国の川を救おうネットワーク主催 (「ナクトンガン河口汽水生態系復元のための国会大討論会」を開催
- 17)2015年 10月 30日 プサン市「ナクトンガンを救おう推進団」発足
- 18)2015年 11月 14日 「ナクトンガン河口堰を開け」プサン市民ウォーキング大会及び文化広場
- 19)2015年 11月 19日 「河口堰開門と川の東側圏の支流にあたる影響」ナクトンガン河口 1次フォーラム
- 20)2015年 12月 3日 「ナクトンガン河口堰開門による地下水及び農業用水の問題点」ナクトンガン河口 2次フォーラム
- 21)2015年 12月 3日 「ナクトンガン河口堰開門による プサン・ウルサン・慶尚南道 市民社会団体疎通フォーラム」ナクトンガン河口 3次フォーラム
- 22)2015年 12月 10日 「ナクトンガン河口堰造成前後の生物多様性変化像と未来像」ナクトンガン河口 4次フォーラム
- 23)2015年 12月 10日 「ナクトンガン河口堰開門のための市民団体戦略ワークショップ」
- 24)2015年 12月 12日 ナクトンガン河口生態復元協会主催「ナクトンガン河口堰を開け」2次プサン市民大会



ナクトンガン河口堰開門
市民との約束(15.8.12)



ナクトンガン河口堰開
門宣言(15.9.23)



1,300人宣言宣布式
(プサン市長第1号宣言2015. 10.8)

IES2022 International ESTUARY Symposium 국제하구심포지엄

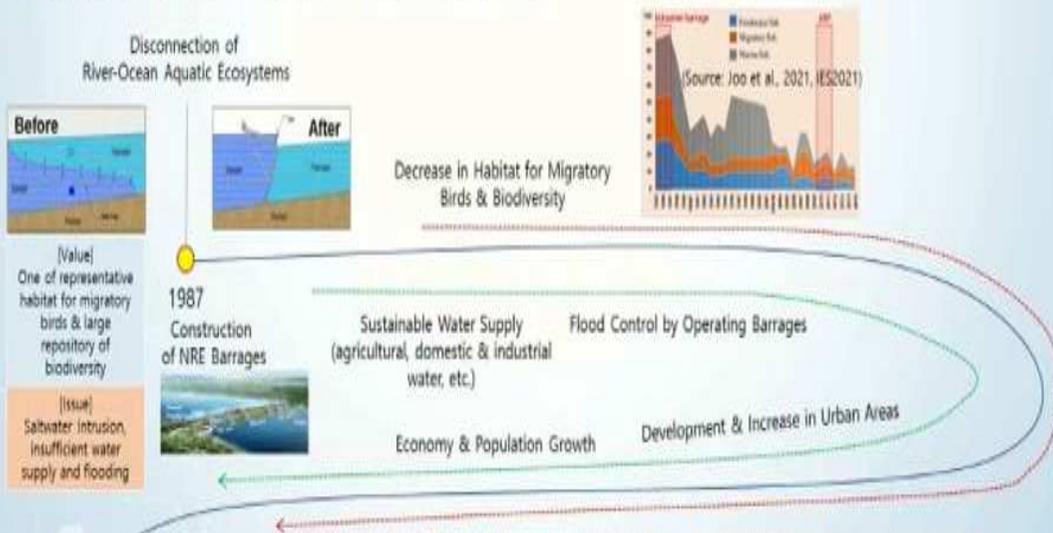
Session 3-1: Overview of Monitoring, Operation, Evaluation and Prediction Technologies for Sustainable Integrated NRE Management

K water

IES2022 International ESTUARY Symposium

1. Introduction

History of NRE Barrage Gate Opening



文在寅 (ムンジェイン 문재인)

大韓民国・大統領

2017年5月10日- 2022年5月10日

- ◆政府組織法の改正
2018年6月8日公布・施行
- ◆水管理基本法の制定
2018年6月12日公布
2019年6月13日施行)
- ◆水管理技術の発展及び水関連産業の振興に関する法律の制定
2018年6月12日公布、
2018年12月13日施行(一部除く)
- ◆2022年2月
ナクトンガン河口堰の規則的開放宣言

ナクトンガン河口汽水生態系復元に向けた努力

- ✓ 2017年7月
(推進体験)「ナクトンガン河口環境管理のための実務会議」を構成('17.7)し、環境部を中心としたナクトンガン河口堰開門国政課題を履行を促す。
- ✓ ([1次] '19.6.6, [2次] '19.9.17, [3次] '20.6.4-7.2)
(実証実験) 3回の開門実証実験を通じて 分析模型を開発、汽水域復元法案(案) 樹立及び地域の意見を収れん
- ✓ 2021年3月22日(河口統合運営センター)
河口水管理機関間統合運営を推進するセンターを開所
- ✓ 2021年 (示範運転)
全4次河口堰の示範運転を試行(環境部主管、1~4次完了)
- ✓ 2022年2月9日 (ナクトンガン流域水管理委員会議決) ナクトンガン河口生態系復元法案(案)
- ✓ 2022年2月18日 (ビジョン報告会)
ナクトンガン河口汽水生態系復元ビジョン報告会開催
- ◆ ナクトンガン河口堰の規則的開放宣言
(Proclamation of regulatory open NRE Barrage Gate)



•••• 낙동강하굿둑 운영개선 및 생태복원을 위한 민관협의체 운영

ナクトンガン河口堰運営改善及び生態復元のための官民協議体の運営



ナクトンガン河口
汽水生態系復元委員会

2. ナクトンガン河口堰運営改善及び 生態復元のための官民協議体の運営



◆2019.07～

- 行政 / 関連機関
- 農業分科 9名
- 漁業分科 8名
- 生態復元分科8名

全体会議 / 文科会議
用役過程 ブリーフィングなど、
その他 意見の收れん



農民反對



목 차	
1. 서론	
II 3차 실용시험 결과	
1. 3차 실용의 특징	
2. 열분 정류 양상	
3. 지어수 및 시실률	
4. 생태 모니터링	
III 향후 계획	



ナクトンガン河口
汽水生態系復元委員会

3. ナクトンガン河口堰開門に関連した今後の課題

イ・ジェミョンの8大環境公約

- 1 4大河川の再自然化及び水質改善
- 2 朝鮮半島の生物多様性の復元
国際的水準の生態系・生物多様性保全
- 3 エネルギー・高速道路 経済跳躍
光・風年金(再エネ) 拡大 均衡発展
- 4 2040年 石炭火力発電所を廃止
- 5 脱プラスチック国家ロードマップ樹立
- 6 河口、沿岸、海洋の自然性回復
(海洋保護区域の拡大)
- 7 環境に優しい有機農法拡大
農業は食料安保とエネルギー転換、
均衡発展を導く国家戦略産業
- 8 気候災難、食料危機など国民の安全
のための国家の責任性の強化

지금은
 1 이재명



더불어민주당 진짜대한민국 선거대책위원회 잘사니즘 환경생태위원회

イ・ジェミョン政府 123大政課題

2025年9月

大韓民国政府

45 4대강 자연성 및 한반도 생물다양성 회복 (환경부)

□ 과제목표

- 4대강 보 개방 확대, 수생태계 연속성 확보로 물이 흐르는 하천 환경 조성
- 2030년까지 보호지역 30% 달성, 국제 수준의 생태계·생물다양성 보전정책 추진

□ 주요내용

- (4대강 제자연화) 시설별 여건에 맞춰 4대강 보 개방 및 취·양수장 개선 사업 신속 추진, 4대강 보 처리·운영에 대한 논란 종결
- (자연 친화적 하천관리) 하천 연속성 조사·평가 결과를 바탕으로 하천 횡단 구조물 개선·철거
 - 낙동강 하굿둑 개방·확대, 금강·영산강 하구 생태계 복원방안 검토
- (보호지역 확대) 보호지역·자연공존지역 확대로 보호지역 국제목표 30% 달성, 훼손된 생태계 복원사업 추진, 국가 생태계 평가 보고서 발간
- (생물다양성 회복) 유입주의 생물 지정 확대 및 외래생물 세관검사 강화 등 생물안보 강화, 멸종위기종 종 보전에 더해 서식지까지 보전하도록 체계 강화
- (생태관광 활성화) 국립공원 지역 명소화를 위한 테마시설 확충, 국가 휴양공원 등 지역 특화 관광자원 개발, 민간 참여 생태계보전 활동에 대한 지원 근거 마련
- (환경영향평가제도 개선) 공탁제 도입 추진, AI 빅데이터 활용으로 평가시스템 사용자 편의성 제고, 평가 관련 정보의 투명한 공개 등 제도 신뢰성 제고

□ 기대효과

- 강과 자연 건강성 회복에 따른 공간 향유와 여가활동 증대로 삶의 질 향상
- 환경영향평가의 신뢰성, 투명성 향상을 통해 지속가능한 개발의 기반 마련

ナクトンガン河口汽水生態系復元法案(案) 2022.02 環境部



<今後の推進日程(案)>

구 분	'22	'23	'24	'25
ナクトンガン河口汽水生態系復元 ・水門開門運動及び技術の高度化 ・汽水生態系のモニタリング計画樹立・履行				
◦ 塩害防止及び流域環境の改善 - テジヨ水門施設の改善 - ウナ川の整備 - 西ナクトンガン水質改善	施設改善	実施設計		
	活用法案研究	施設改善	実施設計	
	研究用役	水質改善計画 樹立		
◦ ナクトンガン河口復元 成果活動 ・フォーラムの運営及びエコツアーなど ・国内外広報・交流				
◦ 河川・河口・沿岸 統合管理の強化 ・関係機関の協力強化 ・「河口復元・管理 特別法」制定				19

**낙동강 하구
기수생태계복원협의회**



4大河川 合水式



감사합니다
ありがとうございました

